事業箇所総合評価シート

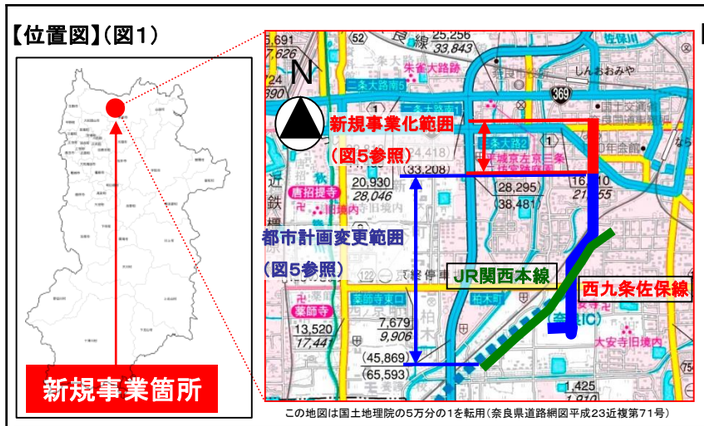
【担当課：地域デザイン推進課】

事業名	補助街路事業	路線名等	（仮称）奈良インターチェンジ周辺整備（西九条佐保線）
箇所名	奈良市大宮町3丁目外		

事業の概要	目　的	京奈和自動車道大和北道路（仮称）奈良ICから奈良中心市街地へのアクセス道路である西九条佐保線の整備・JR関西本線の高架化により、大和北道路利用者の奈良中心市街地への円滑なアクセスの確保、鉄道による地域分断の解消による一体的なまちづくり、既存の踏切除去等による地域の安全確保等を図ることを目的とする。				
	事業内容	①（都）西九条佐保線（大森高畑線～大宮通り） L＝約0．5km　W＝23m（平面4車線） ②（都）西九条佐保線（奈良IC～大森高畑線） L＝約2km　W＝23m（平面4車線or高架2車線＋平面2車線） ③JR関西本線高架 L＝約2km　W＝9．4m（高架構造）　※H25新規事業化は①のみ。				
	着手年度	平成25年度	完成予定年度	平成34年度	全体事業費	5，000百万円（①のみ）
定性的評価	事業の必要性	【必要性】（①～③） Ⅰ大和北道路（仮称）奈良ICからの1次アクセス道路であり、ICから奈良中心市街地への円滑なアクセスを確保するため整備が必要 Ⅱ広域的な観光振興、産業振興等の大和北道路の整備効果を発現するため整備が必要 Ⅲ鉄道による地域分断の解消、踏切除去による交通の安全性向上のため整備が必要 Ⅳ国道24号周辺の生活道路に流入している通過交通を排除することによる地域住民の安全な生活を確保するため整備が必要 【緊急性】（①～③） 平成30年代半ばを想定している（仮称）奈良ICの供用に併せて、①～③の早急な整備が必要である。しかし、②、③は都市計画の変更が必要であることから、都市計画変更の必要のない①を平成25年度より先行着手し、事業を進めることとする。（②、③については、関係者と調整の上、都市計画変更・新規事業化を予定）				
	上位計画等	・「奈良の今後5ヵ年（平成21年度～平成25年度）の道づくり重点戦略」（H20．12）				
	事業の有効性（事業により予想される効果及び影響）	【費用対便益】 B／C＝　3．0（①～③）　※①のみでは3．9				
		【便益に計上されていない効果】（①～③） Ⅰ（仮称）奈良ICから奈良中心市街地へのアクセスの確保 Ⅱ鉄道高架化により、分断された市街地を一体化し、地域の活性化を促進 Ⅲ鉄道高架化に伴う踏切事故の解消 Ⅳ周辺地域の生活道路に流入している通過交通の排除による地域の安全性の向上				
	コスト縮減への取組み	（①のみ） ・道路端の側溝に既製品を採用　▲0.5億円				
	地元情勢等	・地元連合自治会長等が早期整備を要望（H22、H24）				
	他計画他事業との関連	・京奈和自動車道大和北道路の整備（国事業）				

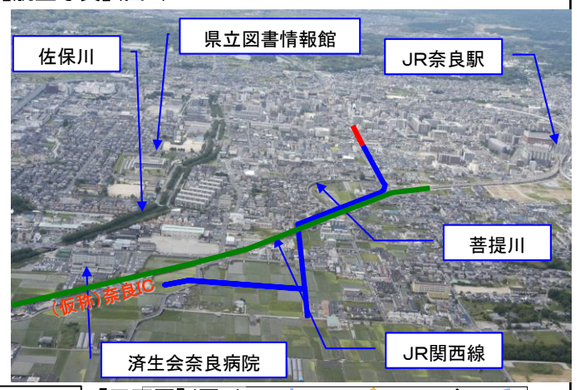
評価結果	左　の　理　由
採択	大和北道路（仮称）奈良ICからの1次アクセス道路の一部であり、必要性、緊急性が認められるため、（都）西九条佐保線（大森高畑線～大宮通り間）を先行整備することを採択とする。

【位置図】（図1）



この地図は国土地理院の5万分の1を転用（奈良県道路網図平成23近複第71号）

【航空写真】（図2）



【大和北道路】（図3）

この地図は国土地理院の5万分の1を転用（奈良県道路網図平成20近複第7号）

【京奈和自動車道】（図4）

出典）奈良国道事務所　大和北道路HP

【大和北道路の整備効果】

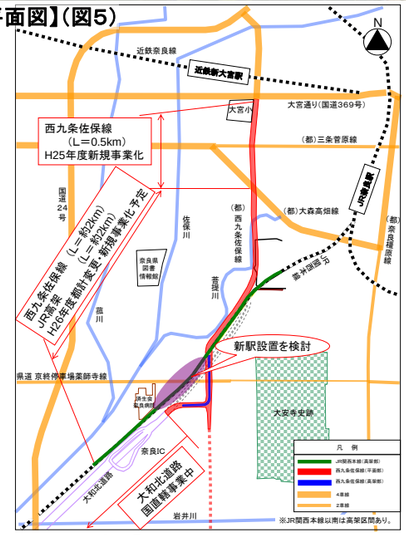
① 他府県との連携強化等による産業の振興

② 中南和地域との連携強化等による広域的な観光振興

③ 事故、渋滞等の地域の課題解消

④ 災害時の代替機能

【平面図】（図5）



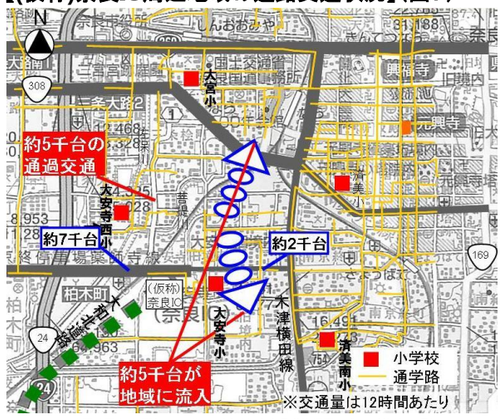
【横断図（平面部）】（図6）

【八条踏切状況】（写真1）

【通過交通状況1】（写真2）

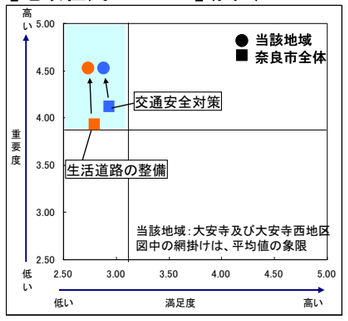
【通過交通状況2】（写真3）

【（仮称）奈良IC周辺地域の道路交通状況】（図7）



この地図は国土地理院の5万分の1を転用（奈良県道路網図平成23近複第71号）

【地域住民のニーズ】（図8）



指数	奈良市満足度	当該地域満足度	奈良市重要度	当該地域重要度
交通安全対策	2.92	2.86	4.11	4.51
生活道路の整備	2.79	2.74	3.92	4.52

出典）奈良市民意識調査報告書（平成23年度 奈良市）